

平成29年9月4日

まち・ひと・しごと創生担当大臣
梶山 弘志 様

東京都知事
小池 百合子

東京23区の大学における定員抑制等に係る緊急要望

本年6月、「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」において、地方創生に資する大学改革として、「東京23区の大学の学部・学科の新增設、定員増の抑制」が決定された。現在は、地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議において、地方大学の振興策等について検討が行われており、年内に最終報告案が取りまとめられる予定である。

日本が将来にわたって成長力を確保していくために地方創生が重要であり、地方大学の振興等に取り組んでいくことに異論はないが、地方創生は、「東京対地方」という構図ではなく、東京と地方が共存共栄し、日本の発展に寄与する日本全体の創生を目指すべきである。

国際競争が激しさを増し、我が国の成長をけん引するグローバル人材の育成が急がれる中、大学は知の拠点として、次代を担う人材の育成、イノベーションの創出等、極めて重要な役割を担っている。

今般の「東京23区の大学の学部・学科の新增設、定員増の抑制」は、大学の教育・研究体制の改革・革新を滞らせ、大学の国際競争力を低下させるにとどまらず、人こそ資源の我が国の国益を損なうことになりかねない。

このようなことから、東京23区の大学の定員抑制等の実施には、明確に反対を表明し、下記のとおり要望する。

記

- 1 地方創生の推進に当たっては、東京と地方が共存共栄し、日本全体の発展に寄与する取組を支援していくこと。
- 2 東京23区の大学における学部・学科の新增設及び定員増の抑制に係る立法措置等を行わないこと。